



## NPO 法人 環境生態工学研究所 活動報告

実施日	平成 26 年 10 月 25 日 (土) ~26 日 (日)
場所	仙台市宮城野区中央市民センター、岩沼市千年希望の丘 他
参加者	NPO 法人 循環共生社会システム研究所 (KIESS) NPO 法人 ソーシャルデザインセンター淡路 (SODA) NPO 法人 環境生態工学研究所 (E-TEC) 会員【計 約 40 人】

活動状況を報告いたします

状況写真	解説
	<p>今回は NPO 法人 循環共生社会システム研究所 (KIESS) の皆さんとの合同セミナーです。京都と仙台を会場に主催を交代するセミナーも今回で 8 回目です。</p> <p>今回より、NPO 法人 ソーシャルデザインセンター淡路 (SODA) の方々も参加していただきました。</p>
	<p>トップバッターは E-TEC 会員の佐々木氏より、『低酸素杯 2014「最優秀家庭エコ活動賞」受賞 一関地球温暖化対策地域協議会 7 年半の歩み』について講演がありました。</p> <p>一関市を中心にローカルな活動としてスタートされましたが、工夫と啓発により大きく展開しているようです。</p>

(次ページへ続く)

状況写真	解説
	<p>次は、株式会社スカイ環境研究所の碓井氏より、『東日本大震災復興活動への取り組み 震災被害を受けた南三陸町伊里前地区 夢のある自然共存型の地域社会づくり(その2)』と題して話がありました。生物調査を通じた自然の回復過程や復興事業に対する提言など、忘れがちだけど重要な事項を紹介いただきました。</p>
	<p>3番目は KIESS 事務局かつ里野山家主宰である佐藤夫妻より、『里野山家便り (その 2)』と題して講演がありました。ご夫妻での里山暮らしを魅力たっぷりにお話下さいました。こちらも数々の工夫をなさっており、楽しくてちょっとお腹の空いてくるお話でした。</p>
	<p>次は毎回おなじみの KIESS 岩川研究員のお話です。今回のテーマは『エネルギーに関する取り組みとその位置づけ-節電の事例と発電の事例-』です。クールシェアの調査を通して、矛盾点などを独自の切り口で紹介いただきました。プレゼンテーションがとても上手い研究員です。</p>

(次ページへ続く)

状況写真	解説
	<p>講演の最後は SODA の木田理事長からのお話で、『地域の新しい未来をつくる-誰もが役割のある社会を目指して-』がありました。福祉と環境は社会において欠かすことのできない最重要課題の一つですが、たくさんの経験を元に解決策を模索される姿には感銘を受けました。就労弱者についての考え方は、E-TEC も同感です。</p>
	<p>最後は KIESS 内藤代表理事と E-TEC 須藤理事長による総評です。旧知の仲であるお二人の話は、難しい問題であっても写真の通りニコニコの結果になってしまいます。会場の使用時間がぎりぎりになるまで、話は続けました。</p>
	<p>翌日は東日本大震災により多くの犠牲があった名取市関上地区と岩沼市千年希望の丘で復旧状況を見学しました。自然災害と環境保全、そして我々の生活は非常に密接です。そこには福祉のような大きな問題から、一人一人ができる小さな行動まで様々な対策があります。視野を広く持ち続けるためにも今後とも多くの人に参加して欲しい企画です。</p>

以上